

ており、「倍増」させなければならないとは思われない。立派な議場がほしいという議員の「虚栄心」が作用しているのではないか。

- ② 市民参加で策定した「庁舎建設基本計画」では、議場は、「市民利用」を想定して、「内容に応じてレイアウトを自由に変えられるようにする」としていた。しかし、市議会は市民利用しやすい議場とする工夫を意図的に怠っている。このままでは、極めて市民が利用しにくいスペースになる危険性が高い。議場は、年間40日程度しか使われていない施設であり、有効活用が求められている。議員は、「自分の居心地」よりも先に「市民の利便性向上」を考慮すべきである。
- ③ 小金井市よりも人口が多い国分寺市の議員定数は22人であるが、小金井市の議員定数は24人である(東京、神奈川、大阪の人口同一水準市の中では小金井市議会の定数が一番多い)。このため、今般の設計は24人を前提とした内容になっており、その分、議場も、委員会室も、議員控室も、スペースが大きくなっている。多すぎる議員定数は削減して、設計に反映させるべきである。

こういった問題に関しても、市民から声が上がらなければ、そのまま強行しようという流れになってしまいます。パブリックコメントでしっかりと声を上げていくことが大事です。

■広場面積も大きな課題

また、新庁舎敷地内にきちんとした面積の広場を確保できるかどうかも極めて重要な論点です。

現時点での設計は、駐車場や道路や通路を「ひろば」と呼ぶなど、まるで”詐欺”のような内容になっています。子どもたちに駐車場で遊べとでも言うのでしょうか？

新庁舎建設予定地は、東西でも南北でも市域の中心に位置する貴重な土地です。

駐車場や通路で埋め尽くすような敷地利用ではなく、周囲に広場や公園が非常に不足している地域事情に鑑み、あらゆる工夫をおこなって、敷地内に広場や公園を確保していくべきだと考えます。

新庁舎には福祉会館(子育て支援機能も含む)も併設されます。駐車場は極力地下に配置して、地上には、子どもたちが伸び伸びと過ごせる空間を確保すべきではないでしょうか。

広場の確保の件については、今後パブリックコメントが実施される際に、改めて関係情報をお知らせする予定です。

続報 西岡市長が推薦した市議候補による個人情報盗用事件

市が刑事告発

前号で詳しくお伝えしたとおり「西岡市長が前回市議選で推薦した市議候補による、市内福祉施設の利用者個人情報盗用事件」が発生し、新聞各紙でも大きく報道されました。

勤務先である福祉施設の利用者個人情報を盗み出して選挙に向けた活動に使うなどの行為は許されるものではありません。そのような人物を選挙で推薦した西岡市長の責任も重大です。

本件に関しては、1月29日に西岡市長から市議会に対して、その後の状況報告が行われました。市として、警察に対し、刑事告発(個人情報保護条例違反)をおこなったとのことでした。

しかし、西岡市長が当該市議候補の後援会に現金を供与していた問題に関しては、西岡市長が説明を拒否しているため、詳細が不明です。「とかげの尻尾切り」で真相をうやむやにすることは許されません。

市議会としても、事件の全体像をきちんと解明し、市民の皆様に詳細を明らかにできるよう取り組んでまいります。

小金井市の地域政党

情報公開こがねい 会員募集中！！

「情報公開こがねい」は小金井市を活動エリアとする地域政党(ローカルパーティー)です。いっしょに小金井市政を考え、行動する会員を募集しています。お問い合わせは表面連絡先まで。どうぞお気軽にお声がけください。

また、情報公開こがねいが発行する「渡辺大三NEWS」の郵送をご希望の方は表面連絡先までお知らせください。毎月郵送します。

■渡辺大三略歴 1966岩手県生まれ。秋田県、宮城県、山形県を経て、9歳から小金井市在住。小金井市立本町小学校・小金井第一中学校、東京都立小金井北高校、中央大学法学部卒業。株式会社河北新報社で新聞記者。その後、衆議院議員秘書を経て、26歳で小金井市議選初当選(以降7期連続当選)。

現在⇒小金井市の地域政党「情報公開こがねい」共同代表。東京都の地域政党「自由を守る会」幹事長。小金井市商工会参与。貫井北町商工振興会事務局長。中町親愛会相談役。中央大学学生会小金井支部副支部長。小金井北高等学校同窓会幹事長。